



平成 19 年 11 月 15 日

平成 20 年 6 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

ULVAC

上場会社名 株式会社アルバック 上場取引所 東証一部
 コード番号 6728 URL <http://www.ulvac.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 諏訪 秀則
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 常見 佳弘 TEL (0467) 89-2033

(百万円未満四捨五入)

1. 平成 20 年 6 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 7 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年6月期第1四半期	54,991	△8.9	1,540	△64.0	1,486	△66.0	235	△88.3
19年6月期第1四半期	60,340	49.4	4,277	510.2	4,365	615.0	2,001	—
(参考) 19年6月期	239,151	12.6	16,625	12.4	16,105	8.9	7,335	△9.5

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年6月期第1四半期	5	48	5	09
19年6月期第1四半期	46	65	—	—
(参考) 19年6月期	170	99	168	04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年6月期第1四半期	324,158	91,182	26.9	2,030	32
19年6月期第1四半期	283,317	88,894	29.6	1,954	71
(参考) 19年6月期	317,577	94,365	28.4	2,105	48

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年6月期第1四半期	△12,277	△3,843	25,902	22,668
19年6月期第1四半期	2,936	△5,582	7,813	16,244
(参考) 19年6月期	1,131	△26,850	23,738	11,664

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金						
	第1四半期末	中間期末	第3四半期末	期末	年間		
	円	銭	円	銭	円	銭	
19年6月期	—	—	—	47	00	47	00
20年6月期	—	—	—	—	—	—	—
20年6月期(予想)	—	—	—	47	00	47	00

【参考】

平成 20 年 6 月期の連結業績予想 (平成 19 年 7 月 1 日~平成 20 年 6 月 30 日)

通期の連結業績予想につきましては、平成 19 年 8 月 16 日発表の数値に変更はありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特
定子会社の異動） : 有
[新規 1社（社名 ULVAC Taiwan Manufacturing Corp.） 除外 0社]
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔(注) 詳細は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【企業集団の状況】

当社グループは、当社、子会社 50 社、関連会社 8 社からなり、真空技術が利用されているさまざまな産業分野に多岐に渡る製品を生産財として提供している真空総合メーカーであります。

事業内容は、真空技術を基盤として、真空装置・機器やサービスを提供する「真空関連事業」と真空技術の周辺技術を基盤として、主に材料や表面解析等を提供する「その他の事業」に区分できます。

各々の事業区分ごとの主要製品は下表のとおりであります。

事業区分		主要製品
真空関連事業	ディスプレイ及び電子部品製造装置	スパッタリング装置、プラズマCVD装置、有機EL製造装置、真空蒸着装置、エッチング装置、固体レーザーアニール装置、インクジェットプリンティング装置、スクリーン印刷機、液晶滴下・真空貼り合せ装置、PDP点灯試験器、太陽電池製造装置
	半導体製造装置	スパッタリング装置、エッチング装置、イオン注入装置、レジストストリッピング装置、メタルCVD装置、減圧CVD装置、ウェーハ前処理（自然酸化膜除去等）装置、ウェーハバンプ検査装置
	コンポーネント	真空ポンプ（ドライポンプ、油回転ポンプ、メカニカルブースタポンプ、油拡散ポンプ、スパッタイオンポンプ、クライオポンプ、ターボ分子ポンプ）、各種真空計、ヘリウムリークディテクタ、各種ガス分析計、表面形状測定装置、非接触型金属膜厚測定機、各種電源、成膜コントローラ、各種真空バルブ、各種真空部品（導入端子、真空覗き窓、真空用マニピレータ他）、真空搬送ロボット／真空搬送コアシステム
	その他	超高真空装置、カーボンナノチューブCVD装置、グラファイトナノファイバーCVD装置、MOCVD装置、超高真空排気装置、スパッタリング装置、MBE装置、イオンビーム応用装置、真空溶解炉、真空熱処理炉、真空焼結炉、真空巻取蒸着装置、蒸着重合装置、真空ろう付炉、凍結真空乾燥装置、真空蒸留装置
その他の事業	スパッタリングターゲット材料、蒸着材料、チタン・タンタル加工品、高融点活性金属（Ta、Nb、W、Mo）、表面処理・精密洗浄、超微粒子（ナノメタルインク）、オージェ電子分光分析装置、X線光電子分光分析装置、二次イオン質量分析装置、熱分析・熱物性測定装置、近赤外線イメージ炉応用機器、各種産業機械駆動用制御装置、高電圧インバータ装置、電源回生コンバータ装置、無停電電源装置、非接触測長装置	

また、当社グループの主要製品の概要は、次のとおりであります。

主要製品	概要
スパッタリング装置	真空中で金属やシリサイドなどの金属の材料に、高エネルギーのアルゴン原子をぶつけ、それに叩かれ飛び出してくる金属原子を付着させて成膜する装置。
CVD装置	つくる薄膜の種類に応じて原料をガス状態で供給し、下地膜の表面における化学触媒反応によって膜を堆積させる装置。
エッチング装置	真空中に被エッチング材料を入れ、その材料に合わせてエッチングガスを導入しプラズマ化し、エッチング種が被エッチング材料に吸着されると表面化学反応を起こし、エッチング生成物を排気除去する装置。
真空蒸着装置	真空中で特定の物質を熱し、そこから蒸発する原子や分子をより温度の低い面に凝縮させて、表面に膜を形成する装置。
真空熱処理炉	真空中で各種金属の焼入、ろう付、焼戻、容体化、時効、磁性処理等を行う装置。

以上のような装置により、携帯電話、パーソナルコンピュータ、携帯情報端末（PDA）、携帯音楽プレイヤー、太陽電池、光通信デバイス、デジタル家電、薄型テレビ、自動車等の最終製品を構成するディスプレイ及び電子部品等が生み出されております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの主要なお客様である FPD（フラットパネルディスプレイ）、電子部品及び半導体関連業界では、FPD を中心として設備投資計画の凍結や延期がありました。一方、エネルギー・環境関連では、太陽電池や環境を配慮したハイブリットカー関連の需要が急拡大し、設備投資の動きが活発化してまいりました。半導体関連では、フラッシュメモリ、DRAM の需要拡大により設備投資が堅調に推移しました。

当社グループは、このような経営環境に対処するため、独創的な新製品をタイミング良く市場に投入し、アルバックソリューションズの推進による積極的な受注活動を行ってまいりました。成長する地域である中国、韓国、台湾への投資を実施するだけでなく、当社の成長戦略である「ポスト FPD 戦略」を見据えた日本国内での投資を引き続き行ってまいりました。また、「ポスト FPD 戦略」を実現するための新技術・新製品開発の投資を積極的に行ってまいりました。

さらに、お客様からの価格引き下げ要求が継続する中、生産改革の推進、グループ内垂直統合と内製化によるもの作りの推進などによるコストダウンを図ることに加え、諸経費の削減を継続することで固定費の圧縮を進めてまいりました。

その結果、当第 1 四半期の業績につきましては、FPD 関連の設備投資が減速したことなどにより、受注高は 395 億 1 百万円（前年同期比 302 億 15 百万円（43.3%）減）、売上高は 549 億 91 百万円（同 53 億 49 百万円（8.9%）減）となりました。

また、当第 1 四半期の損益につきましては、営業利益は 15 億 40 百万円（同 27 億 37 百万円（64.0%）減）、経常利益は 14 億 86 百万円（同 28 億 79 百万円（66.0%）減）、四半期純利益は 2 億 35 百万円（同 17 億 66 百万円（88.3%）減）となりました。

《真空関連事業》

真空関連事業を品目別にみますと下記のとおりです。

（ディスプレイ及び電子部品製造装置）

主に、台湾、日本において大画面（液晶、プラズマ）TV 用の大型液晶ディスプレイ用枚葉式スパッタリング装置「SMD シリーズ」やインライン式スパッタリング装置「SDP シリーズ」などの売上が堅調でした。電子部品製造装置では、パワー IC 用のスパッタリング装置「SRH シリーズ」などの売上が堅調でした。受注につきましては、台湾において薄膜太陽電池一貫ラインの受注を獲得いたしました。また、大画面液晶テレビなど FPD 関連の設備投資計画が活発化し、引き合いが増加してまいりました。

（半導体製造装置）

デジタル家電関連では、携帯電話、携帯音楽プレイヤー、デジタルカメラなどに使用されるフラッシュメモリ、DRAM などのメモリ関連の設備投資が行われました。信頼性や生産性の向上を図ったスパッタリング装置「ENTRON™-EX シリーズ」やバッチタイプ自然酸化膜除去装置「RISE シリーズ」などの売上が引き続き好調でした。

（コンポーネント）

主に FPD 業界における設備投資計画の延期などの影響で、受注が低調に推移していましたが、設備投資計画の活発化により、引き合いが増加してまいりました。一方、一般産業分野における真空ポンプやプロセスモニタ「Qulee シリーズ」の受注、売上が好調に推移しました。

（その他）

主に一般産業用として自動車業界向けの真空溶解炉「FMI シリーズ」や真空蒸着装置が、また医薬品向けに真空凍結乾燥装置「DF シリーズ」の売上がありましたが、厳しいビジネス環境でありました。

その結果、真空関連事業の受注高は 295 億 99 百万円、受注残高は 952 億 36 百万円、売上高は 466 億 88 百万円となりました。また、営業利益は 16 億 82 百万円となりました。

《その他の事業》

その他の事業につきましては、アルバックソリューションズを生かしたグループ一体となった積極的な拡販活動を行い、主に液晶ディスプレイ関連用スパッタリングターゲット等の材料ビジネスにおいては韓国、台湾市場を中心に積極的に営業活動を行ってまいりました。また、新規分野である太陽電池向け材料の開発など今後につながる活動に注力してまいりました。制御関連では、メタル業界と自動車業界において、日本国内向け大型プロセス設備及び中国向け銅箔製造設備用制御システムの受注が堅調に推移しました。分析機器関連では、X線光電子分光分析装置の受注を中心に堅調でした。

その結果、受注高は99億2百万円、受注残高は98億41百万円、売上高は83億3百万円となりました。しかし、材料ビジネスの厳しい競争環境により2億91百万円の営業損失となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

資産は、前連結会計年度末に比べ 65 億 81 百万円増加して、3,241 億 58 百万円となりました。有形固定資産が 61 億 55 百万円増加、受取手形及び売掛金が 26 億 7 百万円増加したのに対し、たな卸資産が 20 億 49 百万円減少したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ 97 億 64 百万円増加して、2,329 億 76 百万円となりました。借入金が 284 億 1 百万円増加したのに対し、支払手形及び買掛金が 132 億 51 百万円減少したことなどによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ 31 億 83 百万円減少して、911 億 82 百万円となりました。利益剰余金などの減少によります。

(2) キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益と減価償却費、たな卸資産の減少などのプラス要因に対し、仕入債務の減少などのマイナス要因があり、122 億 77 百万円の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券、有形・無形固定資産の取得などにより、38 億 43 百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動及び投資活動によるキャッシュ・アウト・フローに対応するため、資金調達として借入金の純増加額 278 億 85 百万円などから、財務活動によるキャッシュ・フローは 259 億 2 百万円の収入となりました。

以上により、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて 110 億 4 百万円増加し、226 億 68 百万円となりました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

有 [新規 1 社（社名 ULVAC Taiwan Manufacturing Corp.） 除外 0 社]

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 平成19年6月期 第1四半期末	当四半期末 平成20年6月期 第1四半期末	増 減		(参考) 平成19年6月期末
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	17,143	23,301	6,158	35.9	11,889
2. 受取手形及び売掛金	82,975	90,006	7,031	8.5	87,399
3. たな卸資産	80,554	94,512	13,957	17.3	96,561
4. 繰延税金資産	4,447	4,239	△208	△4.7	4,723
5. その他	4,087	2,400	△1,686	△41.3	7,558
6. 貸倒引当金	△203	△231	△28	—	△253
流動資産合計	189,003	214,227	25,233	13.3	207,876
II 固定資産					
(1) 有形固定資産					
1. 建物及び構築物	24,586	41,530	16,944	68.9	38,308
2. 機械装置及び運搬具	18,085	20,513	2,428	13.4	21,068
3. 工具器具及び備品	2,626	3,654	1,028	39.1	3,198
4. 土地	9,185	9,530	345	3.8	8,915
5. 建設仮勘定	9,587	12,750	3,163	33.0	10,333
有形固定資産合計	64,069	87,977	23,908	37.3	81,822
(2) 無形固定資産					
1. のれん	2,087	218	△1,868	△89.5	218
2. その他	3,510	3,667	156	4.5	3,593
無形固定資産合計	5,597	3,885	△1,712	△30.6	3,811
(3) 投資その他の資産					
1. 投資有価証券	15,918	8,948	△6,971	△43.8	15,555
2. 差入保証金	1,357	1,490	132	9.7	1,392
3. 繰延税金資産	3,748	4,759	1,011	27.0	4,338
4. その他	3,735	3,187	△548	△14.7	3,096
5. 貸倒引当金	△111	△314	△203	—	△315
投資その他の資産合計	24,648	18,069	△6,578	△26.7	24,068
固定資産合計	94,313	109,931	15,618	16.6	109,701
資産合計	283,317	324,158	40,841	14.4	317,577
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	73,925	58,847	△15,078	△20.4	72,099
2. 短期借入金	31,206	57,979	26,773	85.8	33,715
3. コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000	—	—	10,000
4. 未払法人税等	2,351	950	△1,401	△59.6	3,940
5. 前受金	19,503	21,940	2,438	12.5	24,980
6. 繰延税金負債	0	179	179	—	1
7. 賞与引当金	1,677	1,705	28	1.7	1,640
8. 役員賞与引当金	117	125	8	7.1	497
9. 製品保証引当金	2,778	3,304	526	18.9	2,897
10. その他	13,909	18,733	4,824	34.7	19,698
流動負債合計	155,466	173,763	18,297	11.8	169,467

科 目	前年同四半期末 平成19年6月期 第1四半期末	当四半期末 平成20年6月期 第1四半期末	増 減		(参考) 平成19年6月期末
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
II 固定負債					
1. 社債	200	200	—	—	200
2. 新株予約権付社債	—	15,500	15,500	—	15,500
3. 長期借入金	26,303	29,063	2,760	10.5	24,926
4. 繰延税金負債	—	1	1	—	1
5. 退職給付引当金	10,644	11,949	1,305	12.3	11,394
6. 役員退職慰労引当金	654	670	16	2.5	714
7. その他	1,156	1,829	673	58.3	1,010
固定負債合計	38,957	59,213	20,256	52.0	53,745
負債合計	194,423	232,976	38,553	19.8	223,212
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	13,468	13,468	—	—	13,468
2. 資本剰余金	14,695	14,695	—	—	14,695
3. 利益剰余金	52,621	55,948	3,326	6.3	57,955
4. 自己株式	△6	△8	△1	—	△7
株主資本合計	80,778	84,103	3,325	4.1	86,111
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	1,482	1,062	△420	△28.4	1,461
2. 為替換算調整勘定	1,591	1,929	338	21.2	2,747
評価・換算差額等合計	3,073	2,991	△82	△2.7	4,208
III 少数株主持分	5,043	4,088	△955	△18.9	4,047
純資産合計	88,894	91,182	2,288	2.6	94,365
負債及び純資産合計	283,317	324,158	40,841	14.4	317,577

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 平成19年6月期 第1四半期	当四半期 平成20年6月期 第1四半期	増 減		(参考) 平成19年6月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	100.0%	100.0%			100.0%
	60,340	54,991	△5,349	△8.9	239,151
II 売上原価					
	48,805	46,023	△2,782	△5.7	192,700
売上総利益	19.1%	16.3%			19.4%
	11,535	8,968	△2,567	△22.3	46,451
III 販売費及び一般管理費					
	7,258	7,427	170	2.3	29,826
1. 販売費	2,478	2,554	76	3.1	10,401
2. 一般管理費	4,780	4,874	94	2.0	19,425
営業利益	7.1%	2.8%			6.9%
	4,277	1,540	△2,737	△64.0	16,625
IV 営業外収益					
	703	479	△224	△31.9	3,162
1. 受取利息	19	26	7	36.3	145
2. 受取配当金	9	8	△1	△12.2	194
3. 受取手数料	71	57	△14	△19.6	274
4. 受取賃貸料	29	21	△7	△25.8	157
5. ロイヤルティ収入	—	3	3	—	48
6. 受取保険金	—	—	—	—	4
7. 為替差益	—	—	—	—	290
8. 海外子会社付加価値税還付金	—	73	73	—	624
9. その他	575	291	△284	△49.4	1,427
V 営業外費用					
	616	534	△82	△13.3	3,683
1. 支払利息	192	305	112	58.5	949
2. たな卸資産評価損	22	3	△19	△86.1	1,199
3. たな卸資産除却損	—	—	—	—	92
4. 賃貸資産経費	63	116	53	83.7	278
5. 持分法による投資損失	39	44	5	11.9	560
6. 為替差損	—	28	28	—	—
7. 海外子会社付加価値税 還付手数料	—	—	—	—	206
8. その他	300	39	△261	△87.1	399
経常利益	7.2%	2.7%			6.7%
	4,365	1,486	△2,879	△66.0	16,105
VI 特別利益					
	21	45	24	114.0	402
1. 貸倒引当金戻入額	17	16	△1	△7.2	154
2. 投資有価証券売却益	—	20	20	—	—
3. 補助金受入益	—	—	—	—	235
4. 持分変動利益	4	9	5	139.5	—
5. その他	—	0	0	—	14
VII 特別損失					
	313	316	3	1.1	2,880
1. 固定資産除却損	284	316	32	11.4	533
2. 投資有価証券評価損	29	—	△29	—	36
3. 関係会社出資金評価損	—	—	—	—	69
4. 減損損失	—	—	—	—	2,159
5. その他	—	—	—	—	83
税金等調整前四半期(当期)純利益	6.7%	2.2%			5.7%
	4,072	1,214	△2,858	△70.2	13,627
法人税、住民税及び事業税	2,313	482	△1,831	△79.2	7,307
法人税等調整額	△309	466	775	—	△1,148
少数株主利益	68	32	△36	△52.9	133
四半期(当期)純利益	3.3%	0.4%			3.1%
	2,001	235	△1,766	△88.3	7,335

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期 〔平成20年6月期 第1四半期〕	(参考) 平成19年6月期
	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,214	13,627
減価償却費	2,573	7,980
退職給付引当金の増加額	434	1,084
製品保証引当金の増加額	420	77
固定資産除却損	316	533
受取利息及び受取配当金	△34	△339
支払利息	304	949
売上債権の増加額	△1,915	△2,837
たな卸資産の減少額(△増加額)	2,015	△18,739
仕入債務の増加額(△減少額)	△14,168	2,687
前受金の増加額(△減少額)	△2,010	2,293
その他	2,510	2,752
小計	△8,341	10,066
法人税等の支払額	△3,679	△8,413
利息及び配当金の受取額	34	383
利息の支払額	△291	△905
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,277	1,131
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	70	23
投資有価証券の取得による支出	△339	△2,122
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,470	△27,809
有形固定資産の売却による収入	361	2,965
その他	△465	94
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,843	△26,850
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の純増加額	27,885	9,549
新株予約権付社債の発行による収入	—	15,500
配当金の支払額	△2,016	△1,587
その他	33	276
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,902	23,738
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△241	658
V 現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	9,541	△1,322
VI 現金及び現金同等物の期首残高	11,664	10,515
VII 新規連結による現金及び現金同等物の期首残高	1,464	2,472
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	22,668	11,664

(注) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書につきましては、当期が四半期開示初年度のため、前年同四半期についての記載は行っておりません。

(4) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

(単位：百万円)

科目	前年同四半期 (平成19年6月期第1四半期)				
	真空関連事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
I. 売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	53,111	7,229	60,340	—	60,340
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	133	1,820	1,953	(1,953)	—
計	53,244	9,049	62,293	(1,953)	60,340
営業費用	48,998	9,193	58,191	(2,129)	56,063
営業利益又は営業損失(△)	4,246	△144	4,102	175	4,277

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成20年6月期第1四半期)				
	真空関連事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
I. 売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	46,688	8,303	54,991	—	54,991
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	71	1,449	1,520	(1,520)	—
計	46,760	9,751	56,511	(1,520)	54,991
営業費用	45,078	10,042	55,120	(1,670)	53,451
営業利益又は営業損失(△)	1,682	△291	1,391	150	1,540

(単位：百万円)

科目	(参考) 前連結会計年度 (平成19年6月期)				
	真空関連事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
I. 売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	206,648	32,503	239,151	—	239,151
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	812	8,185	8,997	(8,997)	—
計	207,460	40,688	248,148	(8,997)	239,151
営業費用	192,797	39,121	231,918	(9,393)	222,526
営業利益	14,663	1,567	16,230	396	16,625

平成20年6月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）補足資料

【受注及び販売の状況】

(1) 受注高及び受注残高

受注高

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	当四半期 (平成20年6月期第1四半期)	前年同四半期 (平成19年6月期第1四半期)
真空関連事業	29,599	60,962
その他の事業	9,902	8,754
合 計	39,501	69,716

受注残高

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	当四半期 (平成20年6月期第1四半期)	前年同四半期 (平成19年6月期第1四半期)
真空関連事業	95,236	122,199
その他の事業	9,841	8,083
合 計	105,077	130,282

(注) 消費税等は含んでおりません。

(2) 販売実績

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	当四半期 (平成20年6月期第1四半期)	前年同四半期 (平成19年6月期第1四半期)
真空関連事業	46,688	53,111
その他の事業	8,303	7,229
合 計	54,991	60,340

(注) 1. 消費税等は含んでおりません。

2. 真空関連事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合

(単位：百万円)

品目	当四半期 (平成20年6月期第1四半期)		前年同四半期 (平成19年6月期第1四半期)	
	販 売 高	割 合	販 売 高	割 合
ディスプレイ及び電子部品製造装置	27,127	58.0 %	35,344	66.6 %
半導体製造装置	10,447	22.4	7,484	14.1
コンポーネント	5,910	12.7	6,769	12.7
その他	3,204	6.9	3,513	6.6
計	46,688	100.0	53,111	100.0

(注) コンポーネントは、真空ポンプ、真空計測器、部品・電源・ソフトであります。